

漫画配信から「コンテンツ創出」企業へ ヒット作を量産する「しくみ」づくり強化

ビーグリー 吉田仁平社長に聞く



「当社の主力事業は『まんがが王国』を運営する『ビーグリー（3081）』が3月17日に新規上場から1年を迎えた。20日はマサラスから集積1部への市場変更を果たしている。これまでの歩みを振り返るとともに今後の展望などについて、吉田仁平代表取締役社長にインタビューした。

「ユーザが集まりたい」という強みは、

企業名	ビーグリー
事業概要	漫画配信サイト「まんがが王国」運営
上場日	2017/3/17
初値	1881円

上場1年銘柄に注目

「コミック配信サイト『まんがが王国』を運営するビーグリー（3081）が3月17日に新規上場から1年を迎えた。20日はマサラスから集積1部への市場変更を果たしている。これまでの歩みを振り返るとともに今後の展望などについて、吉田仁平代表取締役社長にインタビューした。



「『まんがが王国』は500タイトルを常時無料で読むことができる『しくみ』を試したい」というコアなファンを育てることで、観客を圧倒的に上回る量の無料作品を用意する。この作品とともに打撃に立ち続けることでヒットを狙うという環境を提供し続けることが、当社の使命と考えている。

「上場を契機に会社として信用力、知名度が向上したことを実感している。漫画を含む電子書籍業界は人材採用や事業提携案件などでスムーズが増した。このほど1部市場変更を果たしたこともあり、成長の効率がさらに上がることを期待している」

「『まんがが王国』を通じて初めて世に出る作品のことが、講談社（東京都文京区）など大手出版社と共同しながら、17年2月に提供を開始した。初年度は10タイトルにとどまったものの、売りが上がってほしい。今期は最低でも40タイトル、中期的には年間100タイトルの輩出体制を目指す」

「『まんがが王国』は500タイトルを常時無料で読むことができる『しくみ』を試したい」というコアなファンを育てることで、観客を圧倒的に上回る量の無料作品を用意する。この作品とともに打撃に立ち続けることでヒットを狙うという環境を提供し続けることが、当社の使命と考えている。

「『まんがが王国』を通じて初めて世に出る作品のことが、講談社（東京都文京区）など大手出版社と共同しながら、17年2月に提供を開始した。初年度は10タイトルにとどまったものの、売りが上がってほしい。今期は最低でも40タイトル、中期的には年間100タイトルの輩出体制を目指す」